

15 地域コミュニティの醸成			
主管課名	生活文化スポーツ部 協働推進課		
主管課長名	市瀬 秀	電話番号	042-481-7123
関係課名 （組織順）	総合防災安全課，文化生涯学習課，福祉総務課，緑と公園課，都市計画課，教育総務課，社会教育課，公民館		
目的	対象	市民，地域コミュニティ，市民活動団体	
	意図	コミュニティ活動が活発に行われるようになる，地域の一員としての連帯感を持つことができる	
施策の方向	市民が地域活動などに積極的に参加し，市民同士の交流が促進できるよう，地域コミュニティの形成を支援します。また，地域の課題などについて，自分たちで取り組み，解決できるよう環境づくりを行います。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>（15-1 地域コミュニティの活性化に向けた支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ活性化に向け，既存の地区協議会に対し，担当職員制による運営支援のほか助成金の交付を行うとともに，未設立地区に設立機運醸成の働きかけを行い，17番目の地区協議会（染地小地区）設立に結びつけた。 活動の協議，情報交換，未設立地区での設立等の促進のため，「地区協議会連絡会」を年4回，「地域勉強会」を12月に開催し，地域交流・連携の進展に寄与した。 自治会に対する加入と支援を推進するため，調布市自治会連合協議会の活動や運営のサポートを行うとともに，協働して「自治会といっしょに！キャンペーン」を実施し，地域コミュニティの活性化を促進した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ1 「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区協議会，自治会等と，防災，防犯部門との連携を更に深化させ，協働しながら地域の防災・防犯活動を発展させることを目的として，地区協議会連絡会や，防犯をテーマに実施した地域勉強会において，防災，防犯部門を含めた形での意見交換やグループディスカッションを行い，連携の強化を図った。 調布市自治会連合協議会と協働して自治会加入促進を図るため，「自治会といっしょに！キャンペーン」事業を実施し，地域コミュニティの活性化に努めた。 	
<p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの基礎的組織としての自治会のほか，ネットワークとしての地区協議会が存在し，団体の活性化を目的とした地域に即した支援，働きかけを継続する中で，17番目の地区協議会（染地小地区）を設立した。 	
<p>（15-2 地域コミュニティ活動の場づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の機能改善及びバリアフリー化を推進するため，富士見地域福祉センターにおいて大規模改修工事を実施するとともに，施設の老朽化に対応するため，深大寺地域福祉センターにおいて受変電設備の改修工事を実施し，活動環境の整備を図った。 地域の防災・防犯機能の充実のため，一部のふれあいの家において火災感知システムと屋外設置型AEDを導入し，より安全・安心な活動の場づくりを促進した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ1 「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉センター，ふれあいの家などコミュニティ施設を地域活動の拠点として更に活性化させるため，富士見地域福祉センター及び深大寺地域福祉センターで改修工事を行うとともに，ふれあいの家においては火災感知システム，屋外設置型AEDの導入及び手摺り設置などのバリアフリー化工事を行い，市民が安全・安心に利用できるよう環境整備を図った。 	
<p>（15-3 地域コミュニティ活動への参加の促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人材育成推進のため，市民活動支援センターと協働して「地域人材育成講座」を実施し，市民の自発的な地域活動を促進した。 様々な地域活動の広報・普及を推進するため，地域活動情報誌「じょいなす」を発行するとともに，ちょうふ地域コミュニティサイト「ちょみっと」を通じて多岐にわたる地域活動・イベント等の情報発信を行い，市民活動の更なる活性化を促進した。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ1 「地域共生社会の実現に向けた取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民活動支援センターが市民活動・地域活動を支援する拠点となるよう，委託事業者や運営委員会と調整・協議・検討を進める中で，市民活動支援センターと協働して「地域人材育成講座」を実施し，地域の新たな人材発掘と育成を図った。 	
<p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティサイト「ちょみっと」を魅力的で実効性のあるものとして広く普及させるため，委託事業者と協働して新たなコンテンツを検討・協議し，次年度以降の実施に向け方向性を確認した。 	

<令和元年度における施策の成果についての総括>

地域コミュニティの活性化に向けては、基本計画に基づき既存16地区協議会の支援とともに、未設立地区への設立機運の醸成を高めるべく働きかけを継続したことにより、染地小地区において17番目となる地区協議会の設立に結びつけた。また、活動の場づくりとしては、富士見、深大寺地域福祉センターで改修工事を実施し、ふれあいの家においては、火災感知システム、屋外設置型AEDの導入やバリアフリー化工事を行うとともに、施設の在り方検討を並行して実施し、より安全・安心で利便性の高い活動環境の整備・充実を図った。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標，◎：総合戦略における指標】	基準値	単位	実績値	目標値
	(基準年度)		令和元年度	令和4年度
1 地域の一員としての連帯感を感じている市民の割合【☆，◎】	35.8 (H30)	%	31.4	50.0
2 地域コミュニティ施設の利用件数【☆】 (上段：地域福祉センター，下段：ふれあいの家)	2万6,512 1万3,464 (H29)	件	2万6,005 1万3,404	2万9,000 1万5,000
3 地域活動に参加している市民の割合【☆】	26.4 (H30)	%	22.7	33.0
【備考】				

2 基本計画事業取組実績

計画コード	49	重点P	-	-
事務事業	地区協議会の設立と支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・協働推進課・参加協働推進係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○全20小学校区において、地区協議会の設立と活動支援	○地区協議会未設立地区の設立に向けた支援	○地区協議会未設立地区の設立に向けた支援	○地区協議会未設立地区の設立に向けた支援(1地区設立)
		○地区協議会の活動支援	○地区協議会の活動支援	○地区協議会の活動支援
事業費 (千円)		8,988	8,988	8,363
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	50	重点P	-	-
事務事業	ふれあいの家の整備			
所管部署	生活文化スポーツ部・協働推進課・地域コミュニティ係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○ふれあいの家の整備によるコミュニティ活動の活性化	○既存施設の維持保全	○既存施設の維持保全	○既存施設の維持保全・屋外設置型AED及び火災感知システムの導入
事業費 (千円)		3,495	3,880	3,668
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	51	重点P	-	-
事務事業	市民活動支援センターの運営			
所管部署	生活文化スポーツ部・協働推進課・参加協働推進係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○センター事業を通じた自主的な市民活動・地域活動のさらなる活性化の促進	○センター事業の実施 ・情報の収集・提供 ・相談・交流・啓発事業 ・市民活動・地域支援活動の充実検討 ○運営団体の運営方法等の検討	○センター事業の実施 ・情報の収集・提供 ・相談・交流・啓発事業 ・市民活動・地域支援活動の充実検討 ○運営団体の運営方法等の検討	○センター事業の実施 ・情報の収集・提供 ・相談・交流・啓発事業 ・市民活動・地域支援活動の充実検討 ○運営団体の運営方法等の検討
	事業費 (千円)	21,949	21,949	19,372
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

16 活力ある産業の推進			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	三ツ木 吉和	電話番号	042-481-7707
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 街づくり事業課		
目的	対象	消費者, 事業者, 起業家	
	意図	商店街がにぎわう・市内消費が高まる, 企業活動が活発になる・市内の起業家が増える	
施策の方向	商店街の環境整備を促進し, その魅力を高めることで, 魅力ある商店街づくりと市民の日常的な買物の利便性及び満足度を向上させます。また, 地域経済を支えている中小企業・小規模事業者の振興や創業支援を行うとともに, 調布市の特性を生かした市内産業の活性化を図ります。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績 施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)

(16-1 にぎわいを創出する商業活性化の支援)

- ・商店街のにぎわいを創出するため, 商店会等が行う夏祭りや歳末イベント等, 16商店会24事業を支援した。
- ・市内の28商店会について, 専門家や調布市商工会と連携した巡回・面談を重ね, それぞれの商店会の特性と現状の把握, 課題の抽出を行うとともに, 第3回柴崎つつじヶ丘仙川まちゼミの実施などを通じて, 商店会活性化に向けた支援に取り組んだ。
- ・中心市街地活性化事業として, 調布駅前周辺の商店会を中心に構成する調布駅前商店街が企画した半券サービス事業を支援し, 回遊性の向上と商業の活性化を図った。

①横断的連携による施策の推進

■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

- ・商工会をはじめ, 市内商店会やトリエ京王調布, 調布PARCO等の大型商業施設と連携し, 調布駅前から盛り上げる会での意見交換やラグビーワールドカップ2019の開催による来訪者の増加も踏まえながら, 商業活性化を推進した。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・ラグビーワールドカップ2019開催期間中のインバウンド需要への対応を主な目的として, 商工会と連携して市内の事業者向けのキャッシュレス決済対応セミナーを商工会と連携して実施し, キャッシュレス決済の普及促進を図った。

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

- ・東京2020大会で増加が見込まれる国内外の来訪者を迎えるに当たり, 障害者理解の促進を図ることを目的として, 令和2年度に発行する調布駅周辺飲食店マップ(「エキモリマップ」)に, バリアフリー情報を掲載するための準備を商工会や調布駅前商店街と連携して進めた。

②調布のまちの魅力発信

- ・調布CMの制作, まちゼミ, 「デカ盛りウォークラリー」, 「Oh!!辛チャレンジ」等を実施し, SNSを含む様々な広告媒体を活用して広く情報発信することで, 調布の個店の魅力向上に取り組んだ。

(16-2 バイ調布運動(市内消費)の促進)

- ・商工会と連携して推進する「バイ調布運動」の促進を図ることを目的として, 商工会の運営及び実施事業を支援した。
- ・調布駅前商店街が実施した半券サービス事業を引き続き支援することで, 回遊性の向上と商業の活性化を図った。
- ・商工会が実施するスクラッチカード事業を支援することにより, 市内消費喚起・消費者還元を一層推進した。

①横断的連携による施策の推進

■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

- ・商工会をはじめ, 市内商店会やトリエ京王調布, 調布PARCO等の大型商業施設と連携し, 「調布駅前から盛り上げる会」での意見交換やラグビーワールドカップ2019の開催による来訪者の増加も踏まえながら, スクラッチカード事業など「バイ調布運動(市内消費)」の促進に取り組んだ。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会を契機として, 製品化ものづくり事業を活用して市内事業者が作成した手ぬぐいや酒類について, 商工会と連携しながら, 様々な広告媒体で紹介し, 製品と調布市のPRにつなげ, レガシーの創出につなげた。

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会で増加が見込まれる国内外の来訪者を迎えるに当たり、市内商店等のバリアフリー化や障害者理解の促進を図るため、市内商店が実施するバリアフリー対策に対する補助事業を実施することで、パラリンピック開催を契機としたレガシーの創出に取り組んだ。

②調布のまちの魅力発信

・商工会をはじめ、市内商店会やトリエ京王調布、調布PARCO等の大型商業施設と連携し、調布駅前から盛り上げる会での意見交換を行いながら、各種広告媒体を活用し、調布の個店や商店街の魅力を発信した。

(16-3 市内事業所・事業者への支援)

・市内事業所の事業活動を支援するため、中小企業庁等の融資個別相談の開催や労務などのテーマ別相談会などを積極的に開催するとともに、販路開拓等を旨とする市内事業所を支援するため、見本市等の出展費用補助を実施した。中小企業事業資金融資あっせん事業として、275件・16億4,900万円余の融資をあっせんした。

①横断的連携による施策の推進

・中小企業等支援に関する包括協定を締結している5つの金融機関や商工会等とともに、事業承継・人材育成・補助金等各種セミナーを実施した。その他、生産性向上特別措置法に基づき、14件の先端設備導入計画を認定した。

(16-4 新たな創業への支援)

・経営アドバイザーによる創業相談を随時実施したほか、初心者向け創業相談会、女性起業相談会等を定期的に開催し、シニア向け創業相談も不定期で開催した。
 ・中小企業事業資金融資あっせん事業として28件・1億6,000万円余の開業融資をあっせんした。
 ・セミナーについては、創業塾をはじめとして、各種セミナーを5回実施し、58人参加があった。また、創業チャレンジ支援事業（市内空き店舗等を活用した創業支援）では、市内で創業した4事業者に対して支援を行った。
 ・国の産業競争力強化法に基づく調布市の特定創業支援事業（e-プロジェクト）では、相談事業・セミナーにおいて経営、財務、人材育成、販路拡大に関する知識を身につけた方に対し、知識を習得したことへの証明書を18件発行した。

①横断的連携による施策の推進

・日本政策金融公庫と連携した融資相談会を毎月開催するとともに、多摩信用金庫相談員による様々な経営課題の解決を目的とした創業経営相談として個別相談を実施した。
 ・新たに、東京都多摩地域事業引継ぎ支援センターの協力を得て、中小企業者における近年の課題である事業承継の個別相談を毎月開催するなど、相談事業の充実を図った。

(16-5 特性を生かした地場産業の振興)

・市内の映画・映像関連企業や市民団体と連携し、「高校生フィルムコンテスト in 映画のまち調布」など世代に合わせた調布ならではの取組のほか、市民・事業者等が取り組む「映画・映像をつくる・楽しむ・学ぶ」機会となる活動に対して、4団体8件の補助を実施した。
 ・映画のまち調布応援キャラクター「ガチョウ」の市内イベントへの出演や、「ガチョウ」PR動画のシアタス調布のプリアド（本編上映前の広告）上映を実施し、「映画のまち調布」の推進に取り組んだ。

①横断的連携による施策の推進

■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

・映画・映像関連企業・団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。
 ・近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムに取り組んだ。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

・国内外からの来訪者が増加したラグビーワールドカップ2019開催期間中に実施した「映画のまち調布Days」において、市内映画・映像関連企業と連携しながら、「映画のまち調布」をPRし、レガシーの創出につなげた。

②調布のまちの魅力発信

・2つの撮影所をはじめ、40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」をPRするとともに、フィルムコミッションの積極的な取組によるロケツーリズムを推進した。

<令和元年度における施策の成果についての総括>

・イベント事業の補助等を通じて各商店会の取組を支援したほか、商工会と連携して商店会や各商店の支援を行い、市民意識調査における日常の買い物が便利と感じている市民の割合が昨年度より8ポイント以上増加した。
 ・商工会と連携して推進する「バイ調布運動」の促進を図ることを目的として、商工会の運営及び実施事業を支援するとともに、調布駅前商店街が実施した半券サービス事業を引き続き支援することで、回遊性の向上と商業の活性化を図った。また、商工会が実施するスクラッチカード事業を支援することにより、市内消費喚起・消費者還元の一層推進につながった。
 ・経営アドバイザーによる創業相談を随時実施したほか、創業塾をはじめとして、各種創業者向けのセミナーを開催し、創業支援を実施した結果、創業等相談件数がまちづくり指標の基準値より64件増加（実績552件）したほか、納税法人数も230法人増加（実績6,303法人）し、創業への機運醸成が図られた。
 ・市内の映画・映像関連企業や市民団体と連携し、「高校生フィルムコンテスト in 映画のまち調布」など世代に合わせた調布ならではの「映画のまち調布」の取組を通じて、まちの魅力向上につなげたほか、映画・映像関連企業と連携した取組の件数をまちづくり指標の基準値より7件増加することができた（実績42件）。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	日常の買物が便利と感じている市民の割合【☆, ◎】	73.8 (H30)	%	82.0	80.0
2	市内商業者(小売業)の年間販売額【☆, ◎】	2,114 (H29)	億円	—	2,254
3	納税法人数【☆, ◎】	6,073 (H29)	法人	6,303	6,100
4	産業労働支援センターでの創業等相談件数【☆, ◎】	488 (H29)	件	552	520
5	映画・映像関連企業と連携した取組の件数【☆, ◎】	35 (H29)	件	42	50
【備考】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	52	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	
事務事業	商店街活性化の推進				
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・商業観光係				
活動内容	計画目標	令和元年度			
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
	○商店街のにぎわいの創出のため、商店街の活性化を支援	○商店街のイベント支援 ○商店街の施設整備への支援 ○中心市街地活性化プランの推進 ○調布市商工会及び専門家と連携した商店街活性化支援	○商店街のイベント支援 ○商店街の施設整備への支援 ○中心市街地活性化プランの推進 ○調布市商工会及び専門家と連携した商店街活性化支援	○商店街のイベント支援 ○商店街の施設整備への支援 ○中心市街地活性化プランの推進 ○調布市商工会及び専門家と連携した商店街活性化支援	
	事業費 (千円)	33,375	33,375	19,920	
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

計画コード	53	重点P	—	—	
事務事業	調布市商工会事業の支援				
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・商業観光係				
活動内容	計画目標	令和元年度			
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
	○調布市商工会の活動、運営の支援による市内商工業の活性化 ○「バイ調布運動」の促進	○調布市商工会の活動・運営支援 ○「バイ調布運動」の促進 ○ラグビーワールドカップを契機とした市内消費の促進	○調布市商工会の活動・運営支援 ○「バイ調布運動」の促進 ○ラグビーワールドカップを契機とした市内消費の促進	○調布市商工会の活動・運営支援 ○「バイ調布運動」の促進 ○ラグビーワールドカップを契機とした市内消費の促進	
	事業費 (千円)	61,900	61,900	61,900	
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

計画コード	54	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	中小企業・小規模事業者の支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・産業労働支援係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○事業承継支援 ○創業・経営支援 ○人材育成支援	○経営課題の解決に向けた支援（事業承継・人材育成等の支援）・中小企業向けセミナーの開催 ○中小企業事業資金融資あっせん事業 ○創業支援 ・専門家による事業所訪問・創業セミナーの開催 ○見本市等出展支援 ○調布市商工会事業の支援（再掲） ○商店街活性化の推進（再掲）	○経営課題の解決に向けた支援（事業承継・人材育成等の支援）・中小企業向けセミナーの開催 ○中小企業事業資金融資あっせん事業 ○創業支援 ・専門家による事業所訪問・創業セミナーの開催 ○見本市等出展支援 ○調布市商工会事業の支援（再掲） ○商店街活性化の推進（再掲）	○経営課題の解決に向けた支援（事業承継・人材育成等の支援）・中小企業向けセミナーの開催 ○中小企業事業資金融資あっせん事業 ○創業支援 ・専門家による事業所訪問・創業セミナーの開催 ○見本市等出展支援 ○調布市商工会事業の支援（再掲） ○商店街活性化の推進（再掲）
	事業費（千円）	50,290	50,290	42,115
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

計画コード	55	重点P	-	-
事務事業	産業労働支援センターによる創業の支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・産業労働支援係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○新たな創業の支援、経営課題解決に向けた支援	○創業経営相談 ○創業経営支援セミナー ○創業支援施設貸出 ○創業チャレンジ支援事業	○創業経営相談 ○創業経営支援セミナー ○創業支援施設貸出 ○創業チャレンジ支援事業	○創業経営相談 ○創業経営支援セミナー ○創業支援施設貸出 ○創業チャレンジ支援事業
	事業費（千円）	9,910	9,910	8,227
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0

17 魅力ある観光の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	伊東 良之	電話番号	042-481-7707
関係課名 (組織順)	広報課, 文化生涯学習課, 環境政策課, 緑と公園課, 都市計画課, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民, 来訪者	
	意図	市民がまちに愛着と誇りを持つ, 多くの来街者が市内を回遊する	
施策の方向	地域資源の魅力の向上と積極的な活用により, 市民がまちに愛着と誇りを持ち, 多くの来訪者からも訪れたいと思われる, にぎわいのあるまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
(17-1 「映画のまち調布」の推進)	<p>・地方創生推進交付金を活用して, 世代に合わせた様々なイベントを実施したことで, 映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマに, 「映画のまち調布」を推進した (映画・映像関連企業と連携した取組の件数42件。前年度比4件増)。</p> <p>・特にフィルムコミッションにおいては, 東京都市長会の多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用し, 狛江市・日の出町と連携した官民一体のロケツーリズム施策を展開したことにより, 市内における撮影実績件数が大幅に増加し, 地域の魅力向上につながった (撮影実績件数は, 過去最大の計133件。前年度比24件増)。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画・映像関連企業・団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。 ・近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムを推進した。 <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外からの来訪者が増加したラグビーワールドカップ2019開催期間中に実施した「映画のまち調布Days」において, 市内映画・映像関連企業と連携しながら, 「映画のまち調布」をPRし, レガシーの創出につなげた。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの撮影所をはじめ40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」をPRするとともに, フィルムコミッションの積極的な取組によるロケツーリズムを推進した。
(17-2 地域資源を活用したにぎわいの創出)	<p>・調布市観光協会と連携し, 「夕涼みの会」等の古刹・深大寺を核とするイベントをはじめ, 「映画のまち調布花火」の開催並びにラグビーワールドカップ2019開催期間中における調布ならではのイベントの実施等, 地域資源を生かしたにぎわいの創出により, 調布市の魅力向上につなげた。</p> <p>・「ゲゲゲの鬼太郎」では, アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」第6期に関連した取組を実施し, 市内外から多くの来訪者を迎えたほか, 有識者懇談会の意見も踏まえながら, 調布市名誉市民である水木しげる氏の妖怪を中心とした独特の世界観を表した作品等の功績をまちづくりに生かしつつ, 後世に伝えていくための方策を多角的に検討するなど, 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進に取り組んだ。</p> <p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深大寺や近藤勇等の地域資源を活用した取組を推進した。 ・(株)水木プロダクション, 東映アニメーション(株), イオンシネマ シアタス調布等と連携し, 水木しげる氏生誕100周年を見据えた「水木マンガの生まれた街 調布」を推進した。 <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外からの来訪者が増加したラグビーワールドカップ2019開催期間に合わせ, 調布ならではのイベントを多様な主体との連携によって実施することにより, 調布の地域資源をPRし, レガシーの創出につなげた。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSをはじめ, 多様な媒体を活用した効果的な情報発信により, 古刹・深大寺や「水木マンガの生まれた街 調布」等の地域資源を積極的にPRした。 ・「ゲゲゲの鬼太郎」において, 声優のトークショー付きアニメ上映会などを開催し, 各種関連企業とともに, SNS等の広報媒体を活用して, 「水木マンガの生まれた街 調布」の取組を広くPRした。

(17-3 多様な主体と連携した観光事業の推進)

・観光振興の中心的役割を担う調布市観光協会の運営を支援し、連携した取組により、映画のまち調布花火をはじめ、豊富な地域資源を有する調布市の魅力向上に取り組んだ。また、多様な主体と連携し、調布ならではのイベントをラグビーワールドカップ2019開催期間中に同時開催することで、調布市のPRやにぎわいの創出につなげた。

①横断的連携による施策の推進**■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」**

・市民及び観光客のシェアサイクルを活用した市内回遊性・利便性の向上について、交通施策との連携やシェアサイクルの管理・設置事業者と連携し、サイクルポートの拡充に取り組んだ。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

・国内外からの来訪者が増加したラグビーワールドカップ2019開催期間に合わせ、調布ならではのイベントを多様な主体との連携によって実施することにより、調布の地域資源をPRし、レガシーの創出につなげた。

②調布のまちの魅力発信

・調布市観光協会公式ホームページや市のホームページをはじめ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる情報発信を積極的に行った。

・調布市観光案内所「ぬくもりステーション」にて、市内外からの来訪者に向けた観光情報の発信を行ったほか、インバウンド対策として、調布駅を中心としたWi-Fi整備や多言語観光情報サイト「Guidoor」を活用した観光スポットの情報発信を行った。

<令和元年度における施策の成果についての総括>

・「映画のまち調布」の推進では、映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマに、「映画のまち調布」の推進により、映画・映像関連企業と連携した取組の件数を前年度比4件（実績42件）増加することができた。また、狛江市・日の出町と連携した官民一体のロケツーリズム施策を展開したことにより、撮影実績件数を前年度比24件（実績133件）増加することができた。

・地域資源を活用したにぎわいの創出や、多様な主体と連携した観光事業の推進では、調布市観光協会をはじめとした各種団体・関連事業者との緊密な連携により、ラグビーワールドカップ2019の開催を契機とした国内外からの多くの来訪者に対して、深大寺や調布ならではの地域資源のPRにつなげられたほか、ゲゲゲ忌や映画のまち調布花火の開催によるにぎわいの創出等、観光振興の取組を推進することができた。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】	基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1 「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組に満足している市民の割合【☆】	69.0 (H30)	%	75.7	75.0
2 観光案内所への来所者数【☆】	8万 1,815 (H29)	人	9万 8,579	10万
3 調布市観光協会発信のSNSのフォロワー数【☆】	6,005 (H30)	人	7,000	1万
4 ロケ支援件数【◎】（目標値は令和元年度）	115 (H26)	件	133	<u>135</u> 以上
5 映画・映像関連企業と連携した取組の件数【◎】 （総合戦略における目標値は令和元年度）	35 (H29)	件	42	<u>25</u> 以上
6 深大寺地域など観光振興に満足している市民の割合【◎】 （目標値は令和元年度）	70.2 (H27)	回	80.8	<u>80.0</u> 以上
【備考】				

2 基本計画事業取組実績

計画コード	56	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち	
事務事業	「映画のまち調布」の推進				
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・商業観光係				
活動内容	計画目標	令和元年度			
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
	○市内映画・映像関連の地域資源を活用した観光・文化・産業などの分野における地域活性化の促進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用, 促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用, 促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用, 促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	
	事業費 (千円)	13,763	13,763	12,636	
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	
計画コード	57	重点P	—	—	
事務事業	調布市観光協会事業の促進				
所管部署	生活文化スポーツ部・産業振興課・商業観光係				
活動内容	計画目標	令和元年度			
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)	
	○観光協会の運営支援と市がパイプ役となり観光協会と他団体との連携を図ることにより観光事業を振興する	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施） ・東京2020大会等を契機とした観光振興	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施） ・東京2020大会等を契機とした観光振興	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施） ・東京2020大会等を契機とした観光振興	
	事業費 (千円)	20,918	20,918	20,759	
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0	

18 都市農業の推進			
主管課名	生活文化スポーツ部 農政課		
主管課長名	元木 勇治	電話番号	042-481-7586
関係課名 (組織順)	環境政策課, 緑と公園課, 都市計画課, 指導室, 学務課		
目的	対象	農業者, 農地, 市民	
	意図	安全でおいしい農産物を生産し, 市民がそれを消費することができる 農地を保全する 市民が農業とふれあい, 都市農業への理解を深めることができる	
施策の方向	農業経営の安定化や後継者の育成を支援し, 新鮮な農産物の供給や農地の保全・活用を図るとともに, 地産地消や農業体験など, 多様な役割を有する都市農業を推進します。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>(18-1 いきいきとした農業経営)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業経営の向上を図るため, 経営規模の拡大, 生産方式の合理化等の目標を定めて作成した「農業経営改善計画」を市に提出し, 市が認定した認定農業者及び認定農業者以外で農業経営に意欲のある農業者が行うビニールハウスの整備などの農業用機械設置事業に対して, 都市農業育成対策事業補助制度を活用した支援を27件実施した。 市民ニーズが高い新鮮で環境に配慮した安全, 安心な農産物の生産・供給を推進するため, マインズ農業協同組合と連携し, 希望する102件の販売農家に対して耕作面積に応じて有機質肥料を配付した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 安心して農業を継続できるように, 国, 東京都, 農協, 農業委員会などと連携し事業を推進した。 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 にぎわいとるおいのあるまちづくりとして, 環境に配慮した栽培を促進する農業者に対し有機質肥料の配付を行い, 市民ニーズの高い新鮮で環境に配慮した安全, 安心な農産物の生産・供給を推進した。 意欲ある農業者を支援するため, 国・東京都等の各種補助金の周知, 活用を促進し, 農業経営を支援した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市農業の振興により, 安全, 安心で新鮮な農産物の供給につながった。
<p>(18-2 農のある地域づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で生産された農産物のPRのため, 「農産物直売所マップ」を農業まつりや市内公共施設等で配布し, 市内農産物の消費拡大, 調布農業の情報発信に努めた。 マインズショップや市内スーパー内直売コーナー等で新鮮で安全, 安心な調布産の農産物を販売しているマインズ農業協同組合直売会や市内農家が調布駅前広場で開催するマルシェを支援し, 地産地消を促進した。 多様な農業体験の場として, 市民農園を市内の計12園565区画(令和2年3月31日現在)で市民に提供するとともに, 農業体験ファーム5園191区画の管理運営を支援したほか, 令和2年度に, 飛田給駅近くに新規開設する農業体験ファームの設備工事費を支援し, 市民が農業にふれあえる場の確保に努めた。 学童農園(米2校, 野菜1校), ふれあい体験農園(枝豆・とうもろこし・白菜, 大根, 40世帯参加)の事業を通じて, 農業者と市民との協働, 農業体験の参加者同士の交流など, 農業を通じてのコミュニティ形成や食育の推進を図った。 学校における食育の推進として, 市内産農産物を活用した給食献立の実施や学校農園, 社会科見学などの授業で農家の方から市内農産物を学ぶ取組を引き続き実施した。 市民と農業者との交流, 農業者の生産意欲や農業技術の向上, 農産物の品質の改良などを行うために, 第43回調布市農業まつりを令和元年11月16・17日の2日間にわたり, 今回は調布駅前広場で開催した。会場には大変多くの市民が来場し, 農産物の展示品評会, 農産物の即売, 農業相談などを行った。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校など食育の推進については, 健康推進課や教育部との連携強化を図った。 ■連携テーマ1 地域共生社会の実現に向けた取組 ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 地域共生社会の実現に向けた取組として, 農業者と市民との協働, 農業体験の参加者同士の交流など, 農業を通じてのコミュニティ形成や食育を推進した。 にぎわいとるおいのあるまちづくりとして, マインズショップや市内スーパー内直売コーナー等で, 新鮮で安全, 安心な調布産の農産物を販売しているマインズ農業協同組合直売会や市内農家が調布駅前広場で開催するマルシェを支援し, 地産地消を促進した。

②調布のまちの魅力発信

・農のある地域づくりを推進することで、食育や環境教育の場となるだけでなく、生活環境に潤いと安らぎを与え、良好な住環境の形成が図られた。

(18-3 農地の保全・活用)

・都市の農地は、安全、安心で新鮮な農産物を供給する場だけではなく、災害時における避難場所となること、生活に潤いや安らぎを与え良好な住環境を形成すること、食育や環境教育の場となること等多面的な機能を有していることから、都市農地の保全に努めるため、生産緑地地区の追加指定を推進した。(8件, 0.225ha)

また、市内に残る水田に必要な農業用水を確保するため、水路の維持保全作業を行った水利組合5組合に対し、農業用水路しゅんせつ作業を補助事業で支援した。

・生産緑地地区でも開設できる農園主が主体となって実施する農業体験ファームの運営に対する支援を行い、良好な農地の保全を図った。

・里山の保全と活用では、調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画に沿った活用の取組について、引き続き、関係部署と共有した。

①横断的連携による施策の推進

・農業振興計画に基づき、多面的な農地の保全・活用に向け環境部、都市整備部と連携し検討した。

・生産緑地の指定に関して都市整備部と連携を進めた。

・防災兼用井戸の設置にあたり、総合防災安全課と連携し事業を進めた。

■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

・にぎわいとるおいのあるまちづくりとして、農業まつり等のイベントなどを活用して農地の多面的機能のPRを進めた。

②調布のまちの魅力発信

・都市農業・農地の保全により、都市農業・農地が有する防災、教育、景観形成等の多面的機能の発揮につなげることができた。

(18-4 都市農業振興に向けた推進体制づくり)

・都市農業振興基本法を踏まえ、計画的な都市農業の振興を円滑に推進するため、いきいきとした農業経営、農のある地域づくり、農地の保全・活用の3つの基本方針を定めた農業振興計画(計画期間:令和2年度~令和11年度)を策定した。

①横断的連携による施策の推進

・庁内横断的連携により、計画的な都市農業の進行を円滑に推進した。

■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

・にぎわいとるおいのあるまちづくりとして、農のあるまちづくりを推進した。

②調布のまちの魅力発信

・調布市農業振興計画を策定し、農業者、農協をはじめとする多様な主体と連携体制づくりを推進することで、各事業等の効果を高めることにつながった。

<令和元年度における施策の成果についての総括>

・農業経営の向上を図るため、認定農業者及び農業経営に意欲ある農業者に対し、都市農業育成対策事業を活用し、農業者が実施した農業用機械設置事業等に支援を行った。

・経営規模の拡大、生産方式の合理化等の目標を定めて作成した「農業経営改善計画」を市に提出し、市が認定した認定農業者が58人になった。

・市民が農業や農家と交流する場である農業体験ファーム5園の管理運営に対し助成することにより、生産緑地の保全・活用を図った。また、多様な農業体験の場として農業体験ファームのほか、市民農園、ふれあい体験農園などを実施した。

・農産物を販売しているマイنز農業協同組合直売会の他にも、市内農家が駅前広場などで開催するマルシェへの支援を通じて地産地消に取り組んだ。

・学校における食育の推進として、市内産農産物を活用した給食献立の実施や学校農園、社会見学などの授業で農家の方から市内農産物を学ぶ取組を引き続き実施した。

・都市農地の保全を図るため、新たな生産緑地地区の指定に取り組み、令和元年度の追加指定は8件、0.225haとなった。

・都市農地の保全・活用に関する新たな取組として、平成30年9月1日に施行された「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」に基づき、令和元年度も耕作が難しくなった生産緑地を、市内農家への貸借につなげ、都市農地の保全・活用を図った。また、令和元年度には、この制度を活用した農業体験ファーム開設に向け、準備を進めた。

・都市農業振興基本法を踏まえ、計画的な都市農業の振興を円滑に推進するため調布市農業振興計画を策定した。

まちづくり指標		基準値	実績値	目標値
【☆:基本計画におけるまちづくり指標, ◎:総合戦略における指標】		(基準年度)	令和元年度	令和4年度
			単位	
1	認定農業者の人数【☆, ◎】	55 (H30)	人	70
2	多様な農業の場の新規開設数【☆】 (目標値は、令和元~4年度の4箇年累計)	0 (H30)	園	2
3	生産緑地地区の年間追加指定件数【☆】 (目標値は、令和元~4年度の4箇年累計)	7 (H30)	件	20
4	市内農家の農産物直売所を利用している市民の割合【☆】	56.0 (H30)	%	60.0

【備考】

2 基本計画事業取組実績

計画コード	58	重点P	—	—
事務事業	農業経営の支援			
所管部署	生活文化スポーツ部・農政課・農政係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○「都市農業活性化支援事業」を活用した営農集団の支援 ○「都市農業育成対策事業」を活用した意欲ある農業者等の支援	○農業振興計画の策定 ○「都市農業育成対策事業」を活用した農業者への支援 ○有機栽培の促進 ○観光農園事業の支援 ○農業生産者団体への育成支援 ○農業用水路しゅんせつ事業の支援 ○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援（再掲） ○特定生産緑地の指定に向けた取組（再掲）	○農業振興計画の策定 ○「都市農業育成対策事業」を活用した農業者への支援 ○有機栽培の促進 ○観光農園事業の支援 ○農業生産者団体への育成支援 ○農業用水路しゅんせつ事業の支援 ○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援（再掲） ○特定生産緑地の指定に向けた取組（再掲）	○農業振興計画の策定 ○有機質肥料の配布（102戸） ○「都市農業育成対策事業」を活用した農業者（27人）への支援（拡充） ○「観光農園を実施する農業者（4農園）への支援 ○市内農業生産団体に対する支援（5団体） ○農業用水路の維持作業に対する支援（5組合）
		事業費（千円） 20,360	20,360	26,224
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	59	重点P	—	—
事務事業	多様な農業体験の場づくり			
所管部署	生活文化スポーツ部・農政課・農政係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○農業体験ファームの運営補助 ○新規農業体験ファームの開設に向けた農地の確保 ○農業体験ファームの施設整備に対する補助	○市民農園の推進 ○農業体験ファームの推進 ○ふれあい体験農園の推進 ○学童農園の推進	○市民農園の推進 ○農業体験ファームの推進 ○ふれあい体験農園の推進 ○学童農園の推進	○市民農園の管理・運営 ○農業体験ファームの運営補助（191区画分） ○農業体験ファームの新規開設に向けた施設整備に対する補助（1農園分） ○ふれあい体験農園の実施 ○学童農園の実施
		事業費（千円） 13,594	13,594	12,266
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	60	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち
事務事業	都市農地の保全・活用			
所管部署	生活文化スポーツ部・農政課			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○都市農地の保全 ○里山の保全と活用	○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援 ○特定生産緑地の指定に向けた取組 ○農業振興計画の策定（再掲） ○市民農園の推進（再掲） ○農業体験ファームの推進（再掲） ○ふれあい体験農園の推進（再掲） ○学童農園の推進（再掲）	○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援 ○特定生産緑地の指定に向けた取組 ○農業振興計画の策定（再掲） ○市民農園の推進（再掲） ○農業体験ファームの推進（再掲） ○ふれあい体験農園の推進（再掲） ○学童農園の推進（再掲）	○「都市農地保全支援プロジェクト」を活用した防災機能の強化、地域、環境に配慮した基盤整備支援（6件） ○特定生産緑地の指定に向けた取組 ○農業振興計画の策定（再掲） ○市民農園の推進（再掲） ○農業体験ファームの推進（再掲） ○ふれあい体験農園の推進（再掲） ○学童農園の推進（再掲）
		事業費（千円） 19,681	19,681	18,784
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

19 芸術・文化の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課		
主管課長名	佐々木 淳	電話番号	042-481-7541
関係課名 （組織順）	協働推進課, 産業振興課, 環境政策課, 社会教育課, 公民館, 図書館, 郷土博物館		
目的	対象	市民	
	意図	芸術・文化に触れる機会が提供され, 芸術・文化活動が活発になる	
施策の方向	市民が芸術・文化を日常的に身近なものとして楽しみ, また, 自らいきいきと芸術・文化活動を行えるような環境を整備することにより, 文化の香り高い, 市民文化をはぐくむまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>（19-1 市民の芸術・文化活動の促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき, 市民が芸術・文化と触れる機会の提供と自ら芸術・文化活動を行える環境づくりのため, (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする市民団体, 民間事業者など多様な主体と連携しながら, 音楽や演劇など様々な事業を展開した。 (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 平成31年3月に策定した10年間の財団基本計画の初年度として, これまで以上に事業・施設・組織の緊密な連携を図る中で, 市民や地域と連携・協働しながら, 「調布国際音楽祭2019」「調布よさこい」「調布市民文化祭」「映画のまち調布 シネマフェスティバル2020」をはじめとする各種取組を展開した。 せんがわ劇場については, 令和元年度から(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団を指定管理者とする指定管理者制度導入の初年度として, 地域の大学等との連携事業等の実施, 市内の小・中学校, 福祉施設等におけるアウトリーチ事業の実施など, これまでの成果を大切に引継ぎつつ, 専門性を有する職員の配置や施設の安定的かつ効率的な管理運営, 文化施設3館の事業連携による効果的な広報など, 芸術文化の一層の発展に向けた環境づくりに取り組んだ。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援においては, 産業, スポーツ, 国際交流, 教育, 福祉など幅広い分野との連携や地域固有の文化資源の活用を図りながら, 各種取組を展開した。 (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 文化施設3館（文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場）に加え, 郷土博物館や武者小路実篤記念館とも事業展開において連携を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援を展開する中で, 市民・団体の交流促進や地域資源の活用を図り, 調布のまちの魅力の向上, にぎわいの創出に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」 ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会への取組については, 庁内横断的な連携はもとより, 東京都, 組織委員会に加え, (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団や調布市文化協会をはじめとする市民団体, 民間事業者など多様な主体との連携により, 芸術・文化のみならず幅広い分野での取組を展開し, 有形・無形のレガシー創出を図った。 東京2020大会に向け, 主に中学生・高校生を対象として, 観劇活動を通じた機運醸成を図ることを目的に, 調布市を拠点として全国的に巡演活動を展開しながら青少年向けの演劇を行う劇団芸優座の公演「昇らぬ朝日のあるものを～幻のオリンピック～」を開催した。 東京2020大会に向け, 調布市文化協会との連携により, 東京五輪音頭-2020-地域練習会の実施や動画「東京五輪音頭-2020-調布バージョン」の作成などを通じて機運醸成を図った。 (公財)調布市文化・コミュニティ振興財団では, 2019年・2020年に向け, 財団独自の次世代継承のテーマである「100年後の君へ。」を基軸に, 深大寺とゆかりの深い能楽を様々な角度から取りあげる「調布能楽オデッセイ」など beyond2020 プログラム認証事業を各種展開した。また, 廃材・端材を活用してアート作品をつくる「クリエイティブリユースでアート!」について, 令和2年度の展覧会に向け, 教育・高齢者施設において, アーティストとともに作品制作を行うワークショップを実施した。 ホストタウンであるサウジアラビア王国について, イスラム文化の理解と文化交流を図ることを目的に, アラビア語講座及びサウジアラビア文化展を開催した。 	

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

・障害者のスポーツのみならず、芸術文化の発展につなげるため、市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品を展示する「パラアート展」を市内福祉団体や民間事業者と連携しながら開催した。

・令和2年を「パラリンピックを契機として共生社会の重要性を発信していく1年」と位置付け、様々な分野にわたる取組を展開していくため、市のキャッチフレーズとして「パラハートちょうふ2020 つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち」を定め、このキャッチフレーズを広く活用していくために作成したロゴの活用と併せ、パラアート展関連ワークショップにおいて制作したアートデザインの活用を広く呼びかけるとともに、PRグッズを作成した。

②調布のまちの魅力発信

・「パッパ・コレギウム・ジャパン」や桐朋学園大学等との連携による「調布国際音楽祭」の開催など、調布にゆかりのある芸術家や地域資源と連携協力した取組を推進した。

・2つの撮影所をはじめ市内に40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」ならではのつくり手にスポットを当てた「調布シネマフェスティバル」を平成30年度に引き続き開催した。

(19-2 芸術・文化施設の整備・運営)

・指定管理者との定期的な会議や日常的な情報共有を図り、利用者の立場に立ち、安全、安心かつ清潔で快適な施設を目指した運営を行い、令和元年度の利用者アンケートでは、文化施設3館の満足度は96.6%となった。

・施設整備については、文化会館たづくりでは、地下2階消火設備CO₂ボンベ交換などを実施し、グリーンホールでは、熱源システムの更新に向けた準備、せんがわ劇場では、ホール出入口の改修工事等を行った。

・施設におけるバリアフリーの推進について、文化会館たづくりで、トイレの洋式化を3箇所で行ったほか、グリーンホールで、大ホールのリハーサル室側の階段に手すりを設置するなどの改修を行った。

・グリーンホールの今後の更新を見据えた取組については、有識者と共に先進事例となる他自治体ホールの視察を行ったほか、これまでの検討状況等について施設利用団体等との情報共有・意見交換を実施するとともに、市の整備に関する考え方について、庁内横断的な情報共有・検討に取り組んだ。

①横断的連携による施策の推進

・台風19号への対応として、防災部門や指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との連携のうえ、グリーンホール及び文化会館たづくりくすのきホールを避難所として開設した。

■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

・ラグビーワールドカップ2019開催期間中、グリーンホール大ホール及び文化会館たづくり大会議場がファンゾーンの会場の一部となり、パブリックビューイングが行われるなど、大会成功に寄与した。

・2019・2020年に向け、文化会館たづくり1階エントランス壁面を「たづくりアスリートワンダーウォール！」としてラッピングし、機運醸成を図った。令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019の開催前から期間中にラグビーの「団結力」、「突破力」、「勝利」を表現した墨絵イラストによるラッピングを実施した。

■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

・（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団では、ホール運営における共生社会の実現を目指すため、「パラ劇場」研修として、文化会館たづくりくすのきホールで音声ガイド、集団補聴、同行支援等の鑑賞サポートを可能な限り行うバリアフリー映画上映会を実施した。

②調布のまちの魅力発信

・文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、それぞれの特色や地域性を生かしつつ、3館の連携によるスケールメリットを生み出すなど、市内の芸術文化の一層の発展に向けた環境づくりに取り組んだ。

<令和元年度における施策の成果についての総括>

・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に沿った市民の芸術・文化活動の促進・支援、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会への取組について、多様な主体と連携しながら、様々な事業を展開する中で、産業、スポーツ、国際交流、教育、福祉など幅広い分野との連携や地域資源の活用を図りながら、各種取組を展開した。

・（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団では、平成31年3月に策定した10年間の財団基本計画の初年度として、これまで以上に事業・施設・組織の緊密な連携を図る中で、市民や地域と連携・協働しながら、各種事業を展開したほか、安全、安心かつ清潔で快適な施設を目指した運営を行い、利用者アンケートにおける文化施設3館の満足度は96.6%となった。

・せんがわ劇場の運営について、令和元年度から（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団が指定管理者となり、これまでの成果を大切に引継ぎつつ、文化会館たづくり、グリーンホールを合わせた3館の事業連携による効果的な広報など、芸術文化の一層の発展に向けた環境づくりに取り組んだ。

・障害者のスポーツのみならず、芸術文化の発展につなげるため、市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品を展示する「パラアート展」を市内福祉団体や民間事業者と連携しながら開催したほか、パラアート展関連ワークショップにおいて制作した作品を「パラハートちょうふ」の取組を広く発信していくアートデザインとして活用した。

・グリーンホールの今後の更新を見据えた取組については、市の整備に関する考え方について、庁内横断的な情報共有・検討を進める中で、有識者からの意見聴取に加え、施設利用団体等との情報共有・意見交換を実施した。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	1年間で芸術文化を鑑賞、または自ら芸術文化活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した市民の割合【☆】	53.9 (H30)	%	51.1	60.0
2	文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の施設利用率（ホール系・会議室系）（上段：ホール系、下段：会議室系）【☆】	84.9 78.1 (H29)	%	85.0 79.8	87.0 80.0
【備考】					

2 基本計画事業取組実績

計画コード	61	重点P	-	-
事務事業	芸術・文化事業の実施			
所管部署	生活文化スポーツ部・文化生涯学習課・文化生涯学習係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○指定管理者である（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団による、文化会館たづくり、グリーンホールにおける「芸術振興事業」、「施設管理運営」等指定管理事業の実施 ○財団による独自、共催事業の実施	○文化会館たづくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業 ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進 ・東京2020大会と連動した文化プログラムの実施	○文化会館たづくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業 ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進 ・東京2020大会と連動した文化プログラムの実施	○文化会館たづくり指定管理事業 ○グリーンホール指定管理事業 ○せんがわ劇場指定管理事業 ○財団独自・共催事業 ○東京2020大会等の機会を捉えた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進 ・東京2020大会と連動した文化プログラムの実施
	事業費（千円）	1,209,699	1,209,699	1,191,522
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	62	重点P	-	-
事務事業	芸術・文化施設の維持・補修			
所管部署	生活文化スポーツ部・文化生涯学習課・文化生涯学習係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○「調布市公共施設等総合管理計画」に基づいた施設維持のための改修を実施。○「調布市基本計画」に基づき、各施設改修工事、グリーンホール及び文化会館たづくりの特定天井改修を実施。	○文化会館たづくり施設改修工事等 ○グリーンホール施設改修工事等 ○せんがわ劇場施設改修工事等	○文化会館たづくり施設改修工事等 ○グリーンホール施設改修工事等 ○せんがわ劇場施設改修工事等	○文化会館たづくり施設改修工事等 ○グリーンホール施設改修工事等 ○せんがわ劇場施設改修工事等 ○グリーンホール特定天井改修検討
	事業費（千円）	164,343	164,343	152,950
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

20 地域ゆかりの文化の保存と継承			
主管課名	教育部 郷土博物館		
主管課長名	福澤 明	電話番号	042-481-7656
関係課名 (組織順)	総務課, 環境政策課, 緑と公園課, 都市計画課, 指導室, 社会教育課, 公民館, 図書館		
目的	対象	市民, 文化遺産	
	意図	文化遺産や伝統を次世代に伝え, 郷土への愛着をはぐくむ, 文化遺産を保存し, 学習素材やまちづくりに活用する	
施策の方向	地域ゆかりの文化資源や歴史・文化遺産を保存・活用することにより, 次の世代に継承し, ふるさと調布に対する愛着を育みます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)	
<p>(20-1 史跡・文化財の保存及び活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国史跡下布田遺跡の整備・活用（史跡公園化）に向け, 整備基本計画策定のため審議・検討を行った。 ・深大寺所蔵「紺紙金字法華経」を市文化財に指定し, 文化財の保全を図った。 ・郷土学習展を開催し, 小学校の見学・体験学習を実施し学校教育との連携を図った。 ・調布の平成年間を振り返る企画展や（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団と共催で地域ゆかりの彫刻家を紹介した移動展を開催し, 展示・普及事業の推進を図った。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国史跡下布田遺跡の整備・活用の計画を推進するため史跡を活用した市民協働事業を実施した。 ・文化遺産の保存活用のため, 関係団体等と連携し深大寺所蔵文書の調査及び文化財の指定を行った。 <p>■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡の活用事業として市民協働事業「縄文の杜プロジェクト・千色工房」を開催し, 史跡の普及啓発を図った。 ・国庫補助事業として文化庁・東京都・深大寺との連携のもと深大寺所蔵近代文書等の調査を実施し, 深大寺の文化遺産についての保存・活用を推進した。 ・深大寺所蔵「慈恵大師坐像」の東京都文化財指定に当たり, 東京都による調査に協力した。併せて『調布の文化財』で広く周知を図った。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校連携として, 下布田遺跡近隣の学校向けに遺跡調査の見学会を実施したほか, 市内遺跡に関する出前授業を市内中学校向けに実施し, 遺跡への理解を深めた。 ・深大寺そば祭り関連事業として深大寺水車館において水車でそば粉ひきの実演を行った。 	
<p>(20-2 地域ゆかりの文化を生かした事業の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武者小路実篤記念館において, 春・秋の特別展, 5回の企画展を幅広い内容で開催し, 新たな来館者の獲得, 記念館の認知度の向上を図った。 ・実篤の代表作である「友情」が発表から100年を迎えたことに伴い, 全ての展示事業で「友情」コーナーの設置, 関連講演会の実施等を行うことにより実篤作品に対して, より理解を深める一つのアプローチが図れた。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止による小・中学校の臨時休業に伴い, ツイッターを活用した自宅学習の教材の発信・提供を通じて, 学習支援をするとともに, 小・中学生とその保護者に記念館へ興味を持ってもらう動機作りを行った。 	
<p>①横断的連携による施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーワールドカップ2019の機運醸成のため, 展示事業を実施した。 <p>■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一財）調布市武者小路実篤記念館理事長所蔵の資料を中心に日本ラグビー史関連の特別展示を開催した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩川流域自治体交流イベントラリーに参加し, 記念館の事業活動等を他市に周知した。 	

<令和元年度における施策の成果についての総括>

- ・平成30年度に策定した国史跡下布田遺跡保存活用計画を基に、整備基本計画策定委員会を開催し、基本計画策定のための検討・協議を進めることができた。
- ・郷土学習展を開催し、多くの小学生が昔の暮らし等を体験することにより、郷土の歴史や文化を学ぶ機会が図れた。
- ・武者小路実篤記念館において継続的な展示事業の実施や、「友情」100年を記念した通年企画等を開催することができ、実篤への理解の向上、記念館の周知が図れた。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】	基準値	単位	実績値	目標値
	(基準年度)		令和元年度	令和4年度
1 文化遺産の数(国・都・市指定等文化財)【☆】	74 (H29)	件	76	79
2 郷土博物館・実篤記念館の合計入館者数(実篤公園利用者含む)【☆】 (基準値は、平成25～29年の平均値)	5万 1,292	人	4万 6,033	5万 5,000
【備考】令和元年度 実篤記念館入館者数 8,344 人、実篤公園利用者数 2万 4,973 人、合計 3万 3,317 人 令和元年度 郷土博物館入館者数 1万 2,716 人				

2 基本計画事業取組実績

計画コード	63	重点P	—	—
事務事業	国史跡下布田遺跡の整備・活用			
所管部署	教育部・郷土博物館・文化財係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○保存活用計画策定の検討 ○整備基本構想策定の検討 ○整備基本計画策定の検討 ○地権者交渉(用地取得) ○地権者交渉(追加指定) ○用地取得 ○管理の所管変更及び登記 ○史跡内外確認調査の実施 ○外部団体発掘資料の整理 ○史跡の保存管理と周知	○保存・整備に関する検討 ○史跡の保存管理と周知 ○史跡整備基本計画の検討	○保存・整備に関する検討 ○史跡の保存管理と周知 ○史跡整備基本計画の検討	○保存・整備に関する検討 ○史跡の保存管理と周知 ○史跡整備基本計画の検討・策定作業
		事業費(千円)	6,684	6,684
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

計画コード	64	重点P	—	—
事務事業	郷土の歴史・文化を核とした展示・普及事業の推進			
所管部署	教育部・郷土博物館・事業管理係			
活動内容	計画目標	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
活動内容	○展示・普及事業の推進 ○「子どもはくぶつかん」の推進 ○学習機会についての情報発信 ○学校教育連携事業の推進	○展示・普及事業の実施 ○「子どもはくぶつかん」の実施 ○学習機会についての情報発信 ○学校教育連携事業の実施	○展示・普及事業の実施・たづくり移動展の実施 ○「子どもはくぶつかん」の実施 ○学習機会についての情報発信 ○学校教育連携事業の実施	○展示・普及事業の実施・たづくり移動展の実施(移動展1回) ○「子どもはくぶつかん」の実施(4回) ○学習機会についての情報発信 ○学校教育連携事業の実施(延べ29校)
		事業費(千円)	3,199	3,199
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

(施策 20 地域ゆかりの文化の保存と継承)

計画コード	65	重点P	-	-
事務事業	武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開			
所管部署	教育部・郷土博物館・事業管理係			
活動内容	計画目標 ○展示活動の実施 ○教育・普及事業の実施 ○武者小路実篤を核とした特色ある事業を充実させ、地域教育・文化向上へ貢献し、全国へ特色ある事業の魅力を発信 ○収蔵品の整理・保存・修復、複製の制作、公開・活用 ○情報提供システムの充実	令和元年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
		○展示活動の実施 ○教育・普及事業の実施・博学連携プログラムの実施 ○収蔵品の整理・保存、修復、複製の制作、公開・活用 ○情報提供システムの運営	○展示活動の実施 ○教育・普及事業の実施・博学連携プログラムの実施 ○収蔵品の整理・保存、修復、複製の制作、公開・活用 ○情報提供システムの運営	○展示活動の実施(特別展2回、企画展5回) ○教育・普及事業の実施・博学推進プログラムの実施 ○収蔵品の整理・保管・修復、複製の制作、公開・活用 ○情報提供システムの運営
	事業費 (千円)	16,195	16,195	15,965
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0